

重点品目野菜について病害虫の予防徹底を図りましょう！

☆ 白ねぎ ☆

予防の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
7月上旬 土寄せ前	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	ダントツ粒剤	3～6kg/10a	収穫3日前まで
	ネダニ類	※2回目の使用	6kg/10a	4回以内
	軟腐病	オリゼメート粒剤 ※2回目の使用	6kg/10a	収穫30日前まで 2回以内
	白絹病 さび病 べと病	ユニフォーム粒剤	9kg/10a	収穫45日前まで 1回以内

※梅雨での根痛みの回復に努めるため「ホスプラス」1,000倍液を散布して下さい。

！注意！ 土寄せは気温が下がっている朝行って下さい。

！注意！ 7月中旬からの最高気温が30℃超えるような時期には土寄せはしない！（軟腐対策）

（雑草対策）

7月上旬の土寄せ以降、**高温時は、土をなるべくかまいたくありません。（軟腐対策）**ねぎの周りの草が多すぎても軟腐病や害虫の発生が多くなります。**草に負けないように小さいうちにねぎの根を傷めないように**草削りを行って下さい。除草終了後、トレファノサイドを使用して、夏休みへ入ってください。

予防の時期	除草種類	農薬名	希釈倍率/散布量/使用回数
7月上旬 土寄せ後	一年生雑草 雑草発芽前	トレファノサイド乳剤	10a当たり薬剤 200～300mL/水1000 収穫30日前まで 2回以内 ※土寄せ後等草が無い状態で使用

使用のポイント 土壤に湿り気がある時の散布が効果的です。乾燥圃場では効果が薄いです。

☆ ナス ☆

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
6月下旬～ 7月上旬	ハダニ類 ヨトウムシ オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル 劇物	2,000倍	収穫前日まで 4回以内
	褐色腐敗病 すすかび病	プロホース顆粒水和剤	1,000倍	収穫前日まで 4回以内

混用
可能

※葉色が悪い時は「トミー液肥」300倍を混用して下さい。

※花が落ちる場合は「ホスプラス」1,000倍液を散布して下さい。

！注意！ 梅雨明け後、乾燥しないように通路にかん水を行う。時間帯：夕方涼しくなってから。

！注意！ 日焼果防止のため黒マルチの上に敷き藁(草)等行って下さい。

☆ ミニトマト ☆

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数	
6月下旬～ 7月上旬	アブラムシ類 コナジラミ類	ダントツ水溶剤	2,000倍～ 4,000倍	収穫前日まで 3回以内	混用 可能
	ハモグリバエ類		2,000倍		
	すすかび病 うどんこ病	トリフミン水和剤	3,000倍	収穫前日まで 5回以内	
	葉かび病		3,000倍～ 5,000倍		

※ここ数年「すすかび病」が多く発生しています。予防の徹底をお願いします。

※尻腐れ(カルシウム欠乏症状)予防のためカルシウム剤(カキパック)を定期的に散布して下さい。

農薬散布時に混用も可能です。

※梅雨明けから盆明けごろまで、遮光資材利用し、比較的単価が高い9月出荷を促す。

7月の花が9月に実になります。樹勢を維持して9月にたくさん収穫しましょう。

☆ ピーマン ☆

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
7月上旬～ 7月下旬	アザミウマ類 オオタバコガ コナジラミ類 チャノコホコリダニ ハダニ類	グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病 斑点細菌病 斑点病	カスミンボルドー	1,000倍	収穫前日まで 5回以内

※尻腐れ(カルシウム欠乏症状)予防のためカルシウム剤(カキパック)を定期的に散布して下さい。

農薬散布時に混用も可能です。

※雨が多い時期はへたの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。

※あまり実を大きく収穫せず、こまめな収穫をお願いします。

※乾燥時に注意！ こまめに灌水を！！

○散布については、使用時期、使用方法を守り、予防的防除を心がけましょう。詳しくは、営農指導員へご相談ください。